

-%0Y d (Ò0¿ _ © « , Ò
Analysis Apparatuses and Data Processing at West Plant of Chiba Works

#ã § *” (Koji Tamura) 3Æ.(• æ ´ (Kiyota Kondo)

0[” :
0Y d _ ,0¿ I € S0 5§ í0 5đ d ? } b0è q † z P1ß _ K S (Ò †0 5đ d b3Æ C _
0¿*(K S (Ò 8 b "á ì \%, Š †% \$x \ K Z > * [A • ? B ~ " C b + 7 · μ p † v ~ °

千葉西工場分析設備と情報システム
Analysis Apparatuses and Data Processing at West Plant of Chiba Works

田 村 耕 治*
Koji Tamura

近 藤 喜代太**
Kiyota Kondo

Synopsis:

もすでに峠をこえた感がある。今後はマイクロコ を容易にするため各種スイッチ類の位置の変更

ンピュータを応用したソフト面の開発が主として
行われて分析設備は小型となり、ラインに設置さ
れてラインのオペレーターが分析するようになる
である。しかるに、小人数で効率よく作業に

分析スピードを上げるための発光周波数自動切換
装置、電極使用限度の警報装置および運転しなが
らでも真空装置の保守や交換ができるような設備
等が追加、

できるよう、設備やその配置の検討に努力を払っ
た。

2・1 分析室

分析室の位置としては、発生する試料数の多寡

(2) 蛍光X線分析装置 (FX)

主として焼結鉍、滓類、ダスト、銑鉄の分析用
であるが、実験用小型電気炉の高合金鋼および鋼
中の特殊成分 (Ce, Se, Sb) の分析も対象として
いる。当所独自の仕様としては、真空炉の炉口は

の分布、分析の緊急性、試料搬送設備の建設費お
よびその保守点検等を総合的に判断して、製鋼工

分析を行い軽元素の分析精度の向上を図る遅延積
分開始タイマー、分析フレ、ピッチャーのための高

ある。本装置の導入により、湿式分析の作業効率の大幅な向上はもとより、データ処理の迅速性、試薬類の削減を図ることができた。また工場配管のアルゴンの使用により、よりいっそうの分析コストの低減となった。なお精度よく分析できる鉄鋼中の成分はSi, Mn, P, Cu, Ni, Cr, Al, Mo, V, Nb, Ti, Zr, Ce, Bなどである。

(4) その他の分析装置

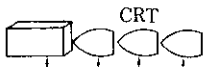
1974年に総合的に開発したものを、さらに耐久性、性能の向上および手動テストの簡易化を図ったものである。

(3) 酸素試料自動調製機

当所が開発したこの調製機はタレット旋盤を改良したもので、ポンプ試料から一度に数個の表面が美しい円柱状の0.5gまたは1.0gの酸素分析用試料を自動的に調製する。本機は高性能ミストコ

Time required (min)	1	2	3	4
Start				

[System Dept.] UNIVAC-494



Schedule
Results



CMT: Cassette Magnetic Tape unit
CRT: Cathode Ray Tube (colored)
DISK: Disk unit
FX: Fluorescent X ray

と同時に炉号別、試料の種類別またはチャージ別
(炉内分析)のワークが行われ、目的種別

また最も新しい分析値を白色で表示し、それ以
前の分析値はグレーで表示し、その場合

